

平成27年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 28	項目名	小・中学校体力向上プロジェクト事業費			主要な施策の 成果 ページ	113	担当 部署	教育委員会事務局 スポーツ保健課
予算 科目	会計	1	一般会計		総合 計画 体系	分野	教育・青少年	
	款	10	教育費			基本方針	学校教育の充実	
	項	6	保健体育費			施策	教育内容の充実	
	目	1	保健体育総務費		当初予算における区分	新規施策・拡大施策・ 重点施策 ・その他		
事務事業	457	学校体育推進費			↑ 該当するものを○で囲んでください			

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	(事業開始の背景は？実施に至った経緯は？) 近年、子どもの体力は低下傾向にあり、草津市においても例外ではない。特に、小学校において文部科学省から出された「体力・運動能力調査」の結果をしてみると、全国、県の平均を下回る種目が多いのが現状で、子どもの体力向上を図ることが課題となっていた。 また、中学校においては、運動中のけがが年々増え続けており、特に部活動についてはたいへん多くなっている。生涯にわたって長くスポーツを続けることができるようにするためには、成長期の生徒が、正しい体の使い方やトレーニングの方法などを学ぶことが必要であった。
事業の対象	(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか？) ○草津市立小学校の児童及び教員 ○草津市立中学校の生徒及び教員
事業の目的	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか？) 小・中学校の子どもたちの体力向上、スポーツ障害予防を推進する。 体育指導者の資質向上や教科体育の充実を図る。
事業の内容 (取り組み)	(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか？) ○小学校では、体幹を鍛えるためのダンス教室を市内小学校全13校の3年生・4年生のいずれかで実施した。 また、立命館大学スポーツ健康科学部の協力のもと、体力向上プログラムを作成、効果の検証を行うとともに、教員の資質向上のための講習会実施や指導案の検討を行った。 ○中学校では、スポーツ障害予防として、スポーツドクターによる講習会及びスポーツトレーナーによる実技講習会を市内中学校2年生全員に実施した。また教員を対象とした体育実技講習会を実施した。

■ 予算・決算状況

		当初予算の状況					決算の状況・実績				
事業費(千円)	内訳・詳細	○小学校体力向上プロジェクト事業費 860千円 ・ダンス教室・ダンステキスト等 ○中学校体力向上プロジェクト事業 1,575千円 ・スポーツドクター・トレーナー講習会等					○小学校体力向上プロジェクト事業費 860千円 ・ダンス教室・ダンステキスト等 ○中学校体力向上プロジェクト事業 1,575千円 ・スポーツドクター・トレーナー講習会等				
	予算・決算額	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源
	前年度比	2,435				2,435	2,435				2,435
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)		当初予算どおり、実行することができた。									
◆平成26年度事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源	
	0				0	0				0	

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	3	市民ニーズが高い	子どもの体力低下が叫ばれるなか、国、県において体力向上のための施策を重要視している。また、運動することが健康な心身の構築につながることから当該事業は必要である。
	3	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	4	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	1	法令により実施することが義務付けられている	法令上の定めはないが、「草津市スポーツ推進計画」において、子どもの体力向上が重点施策として位置付けられている。
	1	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	4	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	4	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	1	市民の基本的生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	3	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	当該事業については、市内小中学生全体に関わるものであり、小学校体育連盟、中学校保健体育連盟とも協議を重ねた上で実施しており、効率的に取り組むことができている。
	3	コスト削減の余地はない	
	3	受益者一人当たりのコストは適正である	
	4	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	4	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	小・中学校の子どもたちの体力向上、スポーツ障害予防、体育指導者の資質向上や教科体育の充実がより図れるよう改善していくものである。
	4	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	4	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	3	当該年度の事業目的を達成できた	「ダンス教室」「スポーツドクター講習会」等において、小中学生より好評を得ることができた。また、立命館大学スポーツ健康科学部の協力のもと、体力向上に効果のある運動プログラムを作成し、一定の成果をあげることができた。
	3	受益者の評価が得られている	
	3	費用対効果が大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.およそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	ダンス教室では、小学校の3・4年生を対象に実施したところ、多くの児童たちから好評であり、楽しんで体力づくりに取り組むことができた。また、平成27年度に作成した体力向上プログラムについては、立命館大学スポーツ健康科学部の協力により、効果が実証されたため、平成28年度は市内全小学校にて実施する。中学校でのスポーツドクター、トレーナーの講習会においては、障害予防に関することを学ぶだけでなく、一番怪我の多い足首の捻挫をした際のテーピングの巻き方についても実習し、生徒のアンケート結果からもほぼ100%の生徒たちから好評を得ることができ、障害予防に対する意識を高めることができた。					
事業に対する市民の意見、反応	<ul style="list-style-type: none"> ・「えふえむ草津」や「広報くさつ」において当該事業の取り組みである「ダンス教室」「スポーツドクター講習会」「スポーツトレーナー実技講習会」を紹介し、多くの市民に知っていただく機会を設けた。 ・生徒からのアンケート結果から、「良かった」・「どちらかというと良かった」と回答した生徒は、スポーツドクター講習会では98%、スポーツトレーナー実技講習会では100%の評価を得ることができた。 					
事業の今後の課題、将来展望	平成27年度に実施した取組みについては、平成28年度に児童・生徒へのアンケートやデータ収集、分析を行い、子どもの体力向上やスポーツ障害予防に関する効果を検証することが必要となる。好評であった、「ダンス教室」「スポーツドクター講習会」「スポーツトレーナー実技講習会」については、次年度以降も継続して実施していく。また、今後、小・中学校が連携した取組みや研修等についても検討していく。					
※平成28年度の予算措置	予算額(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		3,098				3,098
	27年度比			127%		
	積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校体力向上プロジェクト事業費 1,898千円 ・ダンス教室・体育実技研修会・体育備品等 ○中学校体力向上プロジェクト事業 1,200千円 ・スポーツドクター・トレーナー講習会等 				

※ 当該事業が平成27年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。